

令和7年11月21日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和7年11月21日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに163件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,780件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	1 6 3	1 4, 7 8 0
関係都道府県数	2 4	4 7
関係市町村(区)数	4 5	1, 0 4 0

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	3 4	5 8	1 9	3 2	1 0	1 0	1 6 3
累 計	2, 6 6 1	4, 6 1 9	2, 9 5 3	3, 7 5 6	7 0 2	8 9	1 4, 7 8 0

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	0	18	6	18	4	2	2	5	77	31	0	0	163
累 計	141	1,520	1,811	545	256	461	339	523	6,625	2,242	225	92	14,780

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	1 1 6	1 8	2 9	1 6 3
累 計	1 1, 7 4 8	6 9 7	2, 3 3 5	1 4, 7 8 0

今回の答申における主なもの

① 観光拠点として移築再生した旧浄水場施設事務所

012 旧石巻市^{おおかいどう}大街道^{おおかいどう}浄水場事務所

宮城県石巻市 昭和5年頃／昭和54年改修、令和6年移築

津波被害があった^{ながつらうら}長面浦沿岸の敷地に移築した旧大街道^{きゅうおおかいどう}浄水場の事務所。敷地東側に建つ平屋建て腰折れ屋根のスレート葺で、南面に玄関ポーチを付し、北西に附属屋を延ばす。特徴的な屋根が目目を惹く旧水道施設の事務所棟。現在は地域観光拠点として活用。



② 彫刻賑やかな醤油醸造家の屋敷社本殿

029～030 旧茂木佐平^{もぎさへいじ}治家住宅金宝殿^{きんぼうでんほんしや}本社ほか1件 千葉県野田市 大正3年

児童公園に隣接して位置する旧醤油醸造家の屋敷社本殿。東面して建つ^{いりもやづくり}入母屋造り^{つまい}妻入り^{ほんがわらふ}本瓦葺きで、^{から}唐破風造り^{はふ}向拝^{こうはい}は亀甲形の六角柱に龍の彫刻を施し、内外を濃密な彫刻で飾る。装飾豊富な近代の神社建築。



③ 優美な屋根が特徴の発明家の自邸

035 榎尾俊雄^{かしおとしお}発明記念館(旧榎尾家住宅主屋) 東京都世田谷区 昭和47年／平成25年改修

国分寺崖^{がいせん}線上に建つ発明家榎尾俊雄^{かしおとしお}の旧宅。設計は滝沢健児^{たきざわけんじ}。鉄筋コンクリート造二階建て、屋根は切妻造り銅板葺きの^{むく}起り屋根で妻面を前方に大きく張出す軽快な意匠。屋根に独自の作風を示す滝沢の秀作で、現在は榎尾俊雄の記念館として活用。



④現代図書館建築の殿堂

037 日野市立中央図書館 東京都日野市 昭和48年／令和元年改修

豊田駅の南方に位置する市立中央図書館。鉄筋コンクリート造、外壁煉瓦積で、選書の快適性を重視し、開架室は吹抜にガラス窓とした開放的なづくり。初代館長^{まえかわつねお}前川恒雄の構想を建築家の鬼頭^{きとうあずさ}梓が具現化し、現代公共図書館の起点となった建築。



⑤セセッション風意匠がモダンな旧警察署

038 旧金石警察署庁舎^{かないわ} 石川県金沢市 昭和3年／昭和後期改修

港町で栄えた金石^{かないわ}に位置する旧警察署。設計は石川県。鉄筋コンクリート造2階建て、外壁の腰に水切、軒に蛇腹を廻らし、玄関両脇の柱は底上部まで柱頭^{ちゅうとう}を突き出す。幾何学的意匠を用いたセセッション風の外観のモダンな旧警察署。現在は地元のイベント等に利用。



⑥増田友也^{ますだともや}によるモダニズム住宅の名作

051～052 衣笠山^{きぬがさやま}の家(小林家住宅)主屋ほか1件 京都府京都市 昭和39年

衣笠山^{きぬがさやま}山麓に位置する物理学者小林稔の旧宅の主屋。設計は増田友也^{ますだともや}。芝庭に面して建つ鉄筋コンクリート造2階建てで、正面をピロティとする。外観とは対照的に室内は襖・障子・長押^{なげし}など和風意匠を用い、モダンにまとめた増田の代表作。



⑦格調高く風格を放つ現役の鉄道トンネル

055～072 嵯峨野観光鉄道清瀧隧道ほか17件 京都府京都市・亀岡市 明治32年

明治期建設の鉄道における一連の土木構造物。現在は嵯峨野観光鉄道として使用。清瀧隧道は、煉瓦造、馬蹄形の単線断面とし、東坑門は、翼壁も含め全て江戸切仕上げの石材を用い、凸形のパラペットを付け、近衛篤磨揮毫の扁額を飾る。重厚かつ記念碑的外観の現役のトンネル。



⑧白井晟一の代表作となる搭状の銀行建築

151～152 旧親和銀行懷膏館ほか1件 長崎県佐世保市 昭和50年

佐世保駅から北西に位置する銀行の旧電算機棟。塔状の構造体の正面を縦に貫くスリットに向け、壁面が湾曲していく独創的な造形で、外壁に割肌の花崗岩を貼る。隣接する本館とともに白井晟一の代表作となる銀行建築。



⑨震災を乗り越えた在御家人住宅

154～156 木村家住宅主屋ほか2件 熊本県熊本市

江戸後期／大正後期・平成3年・令和5年改修

市街地南方の農村集落に位置する在御家人住宅の主屋。寄棟造り鉄板葺きで、全体に乙型の棟をなす。ケヤキの一枚板の床板や流麗な透し欄間など、庭に面して上質な座敷を備える。震災復旧を終え、往事の姿を取り戻した主屋。



＜担当＞ 文化庁文化財第二課 電話：075-451-4111（代表）
課長 田中 禎彦
課長補佐 上田 和輝
登録部門 清永 洋平、井東 大典、小野寺 洋介（内線 9755）
審議会係 今村 結記、市橋 弥生（内線 9756）